



たてくろジオパーク

だより 第85号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階

TEL: 076-431-2089 FAX: 076-482-3204

MAIL: info@tatekuro.jp HP: <https://tatekuro.jp/>

 <https://facebook.com/tatekuro>

11/22 大地を巡るリレー講演会を開催しました



富山県教育文化会館で「立山黒部ジオパーク 大地を巡るリレー講演会」を開催しました。今回は、富山県〔立山博物館〕の高野靖彦館長に『暴れ川・常願寺川の災害史を学ぶ』と題し、歴史学の視点で常願寺川の災害についてお話いただきました。

平安時代以降、多くの災害の記録が残っていることや、安政の大洪水の影響で移住を余儀なくされた地域があったことなど、常願寺川流域の興味深い歴史を知ることができました。



講演会終了後、参加された方から「参加してよかった」「これからもこのような講演会を是非聴きにきたい」などうれしいお声がけをいただきました。今後も立山黒部ジオパークへの認知度や興味・関心を高める活動に取り組んでいきたいと考えています。

11/6「ジオ学習」富山市立朝日小学校

富山市の「ジオガイド等派遣事業」で、富山市立朝日小学校に伺いました。

「富山の川ってどんな川？」のテーマで理科の「流れる水のはたらき」の学習内容を県内の川につなげるという内容です。水害に対する防災の工夫をしてきたことも学びました。活動が終わった時には、子どもたちから「楽しかった～」という声が聞こえてきました。

立山黒部ジオパーク協会は、立山黒部ジオパークにかかわる学びのサポートを推進しています。



11/23 黒部市下立公民館まつり

今年も黒部市の「下立公民館まつり」に立山黒部ジオパーク協会が参加させていただきました。地域の方々の作品展示や愛本橋の講演、地元の美味しい食べ物、クロモジを用いた化粧水の紹介など、盛りだくさんのイベントでした。

当協会は、下立公民館の一角に石釣りゲームと缶バッジづくりのブースを出展しました。特に缶バッジづくりはお子さんから大人の方まで幅広い年代の方に楽しんでいただけました。この日は地域の多くのみなさんに、ブースに足を運んでいただき、ジオパークに関心をもっていただくことができました。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



11/11 ジオパーク散歩 in 宇奈月

この日は宇奈月温泉地区でジオパーク散歩がありました。立山黒部ジオパーク交流施設わくわく広場「うなジオ」前に集合した後、ジオガイドの案内で、御狼堂、宇奈月谷親水公園、黒部川河原園地を巡りました。今回は宇奈月再発見と題したジオパーク散歩で、あまり知られていない宇奈月の魅力を参加者に知ってもらいたいという思いでコースを考えたそうです。最後は想影橋の下の河原から紅葉を楽しみ、行く秋を惜しみながら帰路に着きました。



11/14 ジオパーク散歩 in 富岩運河

2025 年を締めくくるジオパーク散歩が富山市でありました。富山市役所をスタートし、船橋、馳越線の始点、環水公園、中島閘門を巡り、富山駅北のシンボル富岩運河はどのようにして造られたのかを学びました。今回のコースは約 7 km でおそらく過去最長のジオパーク散歩でしたが、途中、自分の歩幅をもとに旧河道の幅を計測する試みがあったりと、楽しみながら最後まで歩き切ることができました。



2025 年のジオパーク散歩が終了しました

11 月 14 日の「ジオパーク散歩 in 富岩運河」をもちまして、今年のジオパーク散歩は無事終了しました。参加されたみなさま、どうもありがとうございました。

今年は、例年になく酷暑が続いたり、クマの異常な出没で何回か急遽中止となりましたが、開催したジオパーク散歩においては、具合の悪くなった方や、事故などは無く、無事終えることができました。

来年は、2026 年 1 月の魚津市片貝からジオパーク散歩がスタートする予定です。詳細は協会ホームページ等で順次お知らせしますので楽しみにお待ちください。



3/11 滑川
まだ雪が残っていました



4/10 八尾
城ヶ山の桜が見頃



6/25 芦峯寺
映画にもなった布橋



7/27 舟橋
小さな村の蓮のみどころ



11/14 富山
富山まちなかの常夜灯



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



「ジオカフェ」を一緒に楽しみませんか！

アンケートはこちら↓



前回ジオカフェの記事はこちら↓



「ジオカフェ」は、地域のお店で食事などを楽しみながら、ジオパークの視点で地域について語り合い、つながりを広げていこうという楽しい会です。

当面「黒部市・魚津市・入善町・朝日町」「滑川・立山町・上市町・舟橋村」「富山市」の3地域での開催を想定しています。行ってみたい気になるお店や、ここでやってみたら！というお店を是非教えてください。

また今回は、お店を選んだり、アイデアを出したりするスタッフも募集しています。

お店の提案などについて、右上のQRコードからのアンケートにて是非お知らせください。

みなさん、一緒に楽しみましょう！！

企画展などのお知らせ

黒部市吉田科学館

富山市科学博物館

「石ころ」はどうやってできるのでしょうか。石ころの成り立ちを調べると、地球の歴史をひもとけます。この企画展で石ころを読みましょう。

大量出没などで話題になっているクマ。体の特徴や生態、出没状況、遭遇しないための対策などをご紹介します。

(令和7年12月27日まで)

企画展

石ころを読む

2025年11月15日(土)

～2026年2月15日(日)

地球も石ころの集まりなんだよ

ちきゅーちゃん

「石ころ」はどうやってできるのでしょうか。石ころの成り立ちを調べると、地球の歴史をひもとけます。この企画展で石ころを読みましょう。

恐竜の化石

火山の石

石材の「みかげ石」

メノウ

かんらん石

ロビー展「富山にすむクマ」



サイエンスライブ

解説！ 富山のすごい石



サイエンス・ラボ

サイエンスライブ

解説！富山のすごい石

富山県内で採取された岩石や鉱物のうち、お宝ともいえる標本を紹介します。

令和7年12月27日(土)
令和8年1月10日(土)
令和8年1月11日(日)
各日10:30～、14:00～
(各回15分程度)

場所：サイエンス・ラボ

身近な気候変動の緩和・適応の取り組みを実践しましょう！

気候変動に対して、その緩和や適応の取り組みは、地球温暖化を抑制して持続可能な社会構築のために大切な活動です。この取り組みは、「誰かが」ではなく、「みんなが」日々の生活において、少しずつ実践する必要があります。立山黒部ジオパーク協会は、この活動の推進者でありたいと考えております。下記をご参照ください。



パンフレット

(富山県気候変動適応センター)

地球温暖化と富山の未来

身の回りの気候変動を考えよう！



<https://www.pref.toyama.jp/documents/25871/cca-pamphlet-2021toyama.pdf>



「氷河」とは「陸上で重力によって常に流動している多年性の氷雪の集合体」と定義されており、日本の山岳には氷河は存在しないと長らく考えられていました。

立山カルデラ砂防博物館の研究グループは、電波で氷厚を測るアイスレーダーや誤差数 cm の測量用 GPS など新しい機器を使って、立山連峰の万年雪で氷河の可能性を探る現地観測を 2009 年から始めました。その結果、三ノ窓雪渓、小窓雪渓、御前沢雪渓は流動する氷体をもつ日本初の現存する「氷河」とであると判明しました。

池ノ谷氷河は剣岳西面にある細長い氷河です。全長 950m、幅が最大で 110m、標高 1800 ～ 2300m。2012 年秋の観測で右俣の下流部に厚さ 39m、長さ 850m に達する氷体の存在が確認され、氷体は 2012 年秋の 31 日間で 11 ～ 15cm、2013 年秋の 42 日間で 22 ～ 23cm 流動していました。

池ノ谷氷河は、新川平野や北陸新幹線から誰でも眺めることができる唯一の氷河です。池ノ谷氷河は、立山黒部ジオパークのジオサイトに登録されています。



サイトの保護・保全のお願い！

私たちの大切な宝物であるジオ・自然・文化サイトを壊したり汚したりされませんよう保護・保全にご協力をお願いします。また、サイトが破損や汚染しているのを見かけられたら、当協会までお知らせください。

立山黒部ジオパーク協会

TEL 076-431-2089

E-mail info@tatekuro.jp

今年度の富山市民大学が終了しました

11 月 5 日、富山市民大学「立山黒部ジオパークを知る」コースの今年度第 10 回の講師は富山大学の堀田助教で、「立山における火山観測」というテーマでした。世界や日本の活火山から始まり、北陸の活火山、そして、立山火山についてお話いただきました。

お話の中で、寒天とエタノールを使いマグマが上昇するモデル実験を動画で分かりやすく紹介していただきました。また、人工衛星や地震観測等でデータを取集し、様々な面から活火山の研究が進められていることが分かりました。

5 月から始まった今年度の当コースも今回で無事終了しました。講師のみなさん、おつかれさまでした。



〈編集後記〉

先日、まちづくりスポットとやま主催の「ブラとやま」に参加させていただきました。JR 西富山駅から呉羽丘陵東側を歩いたのですが、かつて神通川が呉羽丘陵のすぐ側を流れていたと教えていただいて、大地と川の営みのダイナミクスを肌で感じる事ができました。

さて、今年もあと半月余りとなりました。来年は、クマなど気にせず思い切り野外活動できれば良いですね。これをお読みの頃はまだ師走の忙しい時期と思いますが、インフルエンザも流行っていますので、みなさまくれぐれもご自愛ください。そして良いお年をお迎えください。

ジオパーク
だよりへの
ご意見などは
こちらへ！



立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援して下さる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。ジオパークの活動に興味のある方は、立山黒部ジオパーク協会 (076-431-2089) までお問い合わせください。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

